

「1 / 400」の法則・・・？

久田 真（東北大学大学院）

東北地方に住み始めてまだそれほど長くはないので、東北のこれまでの歴史についてどうこう言える筋合いではないかもしれないが、これまでの東北地方の歴史には、400年に1度、大きな動きがあることを突き止めた。

周知のごとく、「天下分け目の決戦」とされる関が原の戦い（1600年）では、徳川家康の率いる東軍が、石田光成の率いる西軍を破り、この後、家康が1603年に江戸幕府を開いた。この頃、すなわち今からおよそ約400年前の東北地方では、伊達氏16代当主である伊達政宗が、陸奥仙台藩を開き「奥羽の霸王」の名を轟かせていた。今日においても、伊達政宗は、東北地方の著名人として最も有名であろうし、政宗が派手な装いが好きだったため、派手な装いを好み着こなす人を指して「伊達者（だてもの）」あるいは「伊達オトコ」と呼ぶようになった。このほかにも、家来であった支倉常長（はせくらつねなが）をイタリア、スペインまで派遣し、日本人として始めてローマ教皇に接見し、今日でもヨーロッパ各国に行くと日本料理レストランの名称に「はせくら」の名をよく目にすること、映画「スターウォーズ」に登場するダースベイダーの黒いマスクは政宗の甲冑がモデルになっていることなど、伊達政宗にまつわる逸話は数多い。

江戸幕府が開かれた後の伊達政宗は、徳川2代将軍秀忠、3代将軍家光の時

代まで重鎮として仕えたが、秀吉、家康らと同世代の戦（いくさ）人であり野心家であったこと、頭脳明晰でたくい稀な策士であったことなどから、政宗がいつ謀叛を起こすかと常に警戒していたといわれている。仙台に住んでいると「政宗があと10年若かったら、天下を取ったかもしれない」という話はよく聞くし、もしそうであったなら、今の東北地方はどうなっていただろうか？日本語の標準は東北弁になり、寿司は「江戸前」でなく「伊達前」になり、ペリーは松島に來航し、ビートルズは宮城県民会館（現在の名称は東京エレクトロンホール宮城）に來たんだらうか？

政宗からさらに400年ほど遡ると、1200年頃の東北地方に関しては、源義経が奥州藤原氏を頼りに平泉に赴き、そしてモンゴルへ旅立った？という事実+伝説が残っている。この頃の日本は、平安京を中心とした公家社会から鎌倉を中心とした武家社会へと大きく変化した時代であったが、最近の義経に関する研究では、牛若丸と呼ばれたものの、美貌のジャニーズ系男優がヒラ〜りと軽やかに演じるほどの容姿端麗な男ではなかったとする説が有力らしい。

源平の世に平家と争っていた頃の義経は、一ノ谷の戦い（1184年）、屋島の戦いさらには壇ノ浦の戦い（いずれも1185年）などで大いに名を上げ、優れた戦略家であり戦術家であったことが知られている。しかし、兄である源頼朝との諸説ある確執の結果、奥州藤原氏の拠点であった平泉に敗走することになる。義経を討ち取った頼朝は、義経をかくまった罪で奥州藤原氏をも滅亡に追い込み、中尊寺（岩手県）を中心とし栄華を極めた平泉文化を衰退させたが、今日の平泉は、世界遺産の候補地として、また、日本の仏教美術の代表と

して世界的に有名な場所である。頼朝が義経を打ち損じ、もし本当にチンギスハーンになって元寇で攻めてきた時、元が勝利していたら日本はどうなっていたであろうか？ ひょっとしたら、チンギスハーンは本当に義経で、元寇の目的は頼朝へのリベンジだったんじゃないだろうか？

義経の時代から、さらにさらに遡って400年前の西暦800年頃には、坂上田村麻呂によって蝦夷征伐が行なわれ、それまで長く続いた大和民族を中心とする日本軍と、北方のアイヌ民族を中心とする蝦夷軍との争いに「ひとまず」の決着がついた。この頃の日本軍の北方の最前線基地（鎮守府もしくは国府）であった多賀城（宮城県）には、今でも史跡が残されているが、田村麻呂が蝦夷群を打ち破った後には、鎮守府は胆沢城（秋田県）に移動している。それ以降、日本の歴史においては、奈良・平安時代には東北地方に派遣された将軍の呼称の一つに過ぎなかった「征夷大將軍」が、日本を治める者として最も高い地位を意味する役職となった。ここでも、もし日本軍と蝦夷軍（そもそも「蝦夷（エゾ）」という呼称自体が、後世の「日本」が付けた言葉かも知れない）との争いで、蝦夷軍が勝っていたら、どうなっていたであろうか？ ちなみに、本年の6月6日には、2007年9月の国連総会で採択された「先住民族の権利に関する宣言」を受け、アイヌ民族が日本の先住民族であることが国会で決議された。

このように、東北の歴史を概観すると、そこには何故か400年に1度、歴史を大きく揺り動かす事柄がうかがい知れることが分かる。すなわち「1/400の法則」である。この流れで考えた場合、21世紀を迎え、2000年頃

と呼べる今の東北には、まさにこの「1 / 4 0 0 の法則」があてはまるのではないだろうか？

ごく近々の話題であれば、世間を賑わしている主な話題はといえば、設立3年目にしてついに優勝争いに名乗りを上げられるほど？ になった東北楽天イーグルスの活躍、仙台出身のお笑い芸人サンドウィッチマン（2人組のお笑いコンビ、ツッコミ役の「ダテちゃん」は本当に伊達家の末裔らしい）が、漫才のグランプリで日本一となったこと、云々・・・も、確かにあるにはあるが、それだけではない。近年の東北地方では、新幹線が本州と北海道を結びつつあること、トヨタ自動車の生産拠点のひとつが東北地方に進出したこと、近い将来に道州制が導入される可能性があることなど、経済面での今後の発展のきっかけが増えつつある状況だと言ってよい。また、これまで「温存」されてきた、今日の日本では有数の、いわば未開のエリアが、東北にはまだ沢山残っているのである。

「1 / 4 0 0 の法則」として、東北がいま一度「し損ねて」しまうか、今度こそ大きく羽ばたけるかどうかを左右するのは、今この時期にいる我々なのかもしれない。

字数：約 2 5 0 0 字